



様式1(主な取組)

活動指標名	プロモーション支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1件	2件	1件	1件	1件	1件	100.0%	7,156	順調	観光情報サイトにおいて市町村における自然環境に配慮したルール等に関する周知を実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全利用協定締結地区への支援及び未締結地区への普及は自然保護課が中心となり事業を実施しているが、多くの事業者に参加してもらえよう、当課でも周知等の支援を行う。</li> <li>・ 地域活性化に資する持続可能な観光（サステイナブル・ツーリズム）を推進するため、人材育成や普及啓発活動等に取り組む。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境共生型観光の推進のため、環境部と連携し、世界自然遺産登録地域における観光管理計画の策定等に取り組んだ。</li> <li>・ 観光人材育成・確保促進事業の階層別集合型研修において、「沖縄における持続可能な観光」をテーマにサステイナブルツーリズムやレスポンシブルツーリズムの考え方等についての講座を実施した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録された。

##### ○外部環境の変化

- ・ SDGsの推進について、世界的な関心が高まっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 世界自然遺産登録地域で取り組まれている観光管理の手法等について、情報提供や意見交換の場をとおして、その他市町村にも展開を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 世界自然遺産登録地域で取り組まれている観光管理の手法等について、情報提供や意見交換の場をとおして、その他市町村にも展開を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	① 環境共生型観光の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	エコツーリズムの推進			
対応する主な課題	<p>①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。</p> <p>②沖縄の貴重な自然環境と観光振興を持続的に両立させるには、実態調査等に基づいた沖縄独自の環境負荷低減の地域における取組が必要不可欠である。また、観光利用による観光資源の劣化が見られる地域においては、市町村や地域が主体となって行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりの強化が課題である。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
自然環境に配慮し、安全性の高い高品質なエコツーリズムを推進するため、沖縄のエコツーリズムメニュー等に関する情報発信支援及びエコツーリズム関連の人材育成支援を行う。		3件				
		プログラムメニュー情報を紹介するwebコンテンツの作成・更新				
実施主体	県	コーディネーターの育成				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課	【098-866-2764】	品質保証制度の検討・構築・			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	エコツーリズム推進プラットフォーム事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
県単等	委託	4,398	4,433	6,148	5,964	7,156	6,440	県単等	OR3年度：観光地の混雑解消等に資する、観光バスの予約システム導入に向けた検討を行った。 OR4年度：観光地の混雑解消等に資する、観光バスの予約システム導入に向けた検討を実施する。	

様式1(主な取組)

活動指標名	情報発信支援件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
実績値	3件	2件	2件	2件	3件	3件	100.0%	7,156	順調	観光情報サイト等において、エコツーリズムに関するコンテンツに係る情報発信を3件行った。	
活動指標名					R3年度						
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	沖縄の魅力ある自然を活用したエコツーリズムについて、観光情報サイトで情報発信を行うことで、観光客への周知を図った。
活動指標名					R3年度						
実績値											
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和3年度 of 取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化に資する持続可能な観光を推進するため、継続的に人材育成や普及啓発活動等に取り組む。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣府が実施する人材育成事業において、連携してツアーガイド等の育成に取り組んだ。</li> </ul>					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録された。

##### ○外部環境の変化

- ・ SDGsの推進について、世界的な関心が高まっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 自然環境や地域住民、地域経済の調和が図られた持続可能な観光を推進するため、市町村が行う観光地マネジメントに係る取組を推進する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 自然環境や地域住民、地域経済の調和が図られた持続可能な観光を推進するため、市町村が行う観光地マネジメントに係る取組を推進する。



様式1(主な取組)

活動指標名	ウェブサイトでの情報発信				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	観光情報WEBサイトでウェルネスツーリズムに関する特集記事を昨年度に引き続き継続して掲載した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										沖縄の豊かな自然や食文化、生活スタイル等がウェルネスに結びつくものとして認知されており、観光統計実態調査において、保養や休養は沖縄への来訪目的として重要な役割を果たしている。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症による旅行需要や旅行者の興味関心の変化を考慮し、より効果的なプロモーションを検討する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>観光情報WEBサイトで昨年度に引き続き情報発信を行った。</li> </ul>				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・医療サービスの観光資源化促進については、医療資源の確保や地域医療の保護の観点からも、十分な検討が必要である。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の拡大により、入域観光客数が大きく減少している。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄の温暖な気候や沖縄らしい自然環境、食文化等を活かしたウェルネスツーリズムについて、沖縄観光情報WEBサイト等で情報発信を行う。

### 4 取組の改善案 (Action)

・新型コロナウイルス感染症による旅行需要や旅行者の興味関心の変化を考慮し、より効果的なプロモーションを検討する。



様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄の観光資源を活用した観光商品の開発支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	11件	12件	12件	5件	8件	12件	66.6%	40,626	やや遅れ	国内外からの観光誘客拡大につながる、沖縄の観光資源を生かした観光メニューやMICEメニューを開発する地域観光協会や民間企業等の自主的な取り組みを促進集中的に支援し、自走化を促す。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  新型コロナウイルス感染症や軽石の漂着で、補助事業実施に影響があったものの、当初の活動計画どおり8件無事に事業を完了することができた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>早い段階でアドバイザーによる補助事業者への支援を行う。</li> <li>観光コンテンツの開発を検討している事業者に対し、観光コンテンツの開発に資するセミナーを実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業開始の早い時期にアドバイザーとの面談を行った。</li> <li>セミナーを3回開催した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 質の良いコンテンツを開発及び自走化を促進するためには、PDCAサイクルによる見直しも必要なため、時間を要する。

##### ○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式に対応した観光の潮流に対応できる事業運営が求められる。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 質の良いコンテンツ及び自走化を促進するため、支援期間を延ばす必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 支援期間を1年から3年に延ばす。
- ・ 観光コンテンツの開発を検討している事業者に対し、観光コンテンツの開発に資するセミナーを実施する。



様式1(主な取組)

活動指標名	セミナー等開催件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	6件	1件	19件	2件	1件	1件	100.0%	0	順調	マリンレジャー事業者を含む観光産業従事者の対応能力向上を図るため、エントリー層向け集合型研修(15事業者参加)、現場リーダー層向けの集合型研修(17事業者参加)、オンラインセミナー(34事業者参加)を実施し、合計で66件支援を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値										
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 本事業で実施した各集合型研修のアンケート調査を行ったところ、89.2%の満足度を得ており、効果的に観光事業者の能力向上が図られた。
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内ダイビング事業者等に対し、世界有数の観光リゾート地「沖縄」としてのブランド確立がいかに重要かといった意識啓発を含めたセミナーを実施することと併せて、世界中のダイバーに向け、安全・安心なマリンレジャーを提供するための取組みをPRすることで、海外ダイバーを含むすべてのダイバーの受入態勢整備を促進する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の新規事業開始に向けて、マリンレジャー事業者や旅行社等と意見交換を実施し、マリンレジャー振興に向けた検討を実施した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ マリンレジャー産業は比較的参入障壁の低い業界と言われており、価格競争に伴う、安全安心や環境への配慮に欠いたサービス提供が懸念される。

##### ○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、入域観光客数が大きく減少している。
- ・ 軽石の漂着に伴うマリンレジャー実施への影響が懸念される。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 沖縄のマリンレジャーの魅力やイメージについて、海のみさだけではなく、安全安心やSDGsに配慮したサービス等を新たな魅力として確立し、質の高いマリンレジャーについて観光客へ向けて情報発信する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 安全安心やSDGsに配慮したサービス提供等について、セミナー等をととして事業者の取組を促進する。
- ・ 観光客へ向けては、質の高い事業者選びや沖縄における安全安心やSDGsに配慮した取組を情報発信する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	② 沖縄独自の観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○高付加価値型観光・着地型観光の推進
主な取組	カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
リゾートウェディング等を沖縄観光ブランドの一つと位置付け、国内外に向けてブランディング及びプロモーションを実施し、挙式組数の増加、観光消費額の向上を図る。		8回プロモーション回数				→
実施主体	県	①国内外におけるフェア出展、広告等によるプロモーション ②情報発信 ③受入体制強化				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課	【098-866-2764】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金(ソフト)	委託	58,873	27,629	44,364	46,286	48,981	39,500	一括交付金(ソフト)	OR3年度：国内・海外ウェディングフェア等におけるプロモーション8回の目標値に対して、9回であった。	OR4年度：国内・海外ウェディングフェア等におけるプロモーション6回の目標値を定め、実施予定である。
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
									OR3年度：	OR4年度：



様式1(主な取組)

活動指標名	国内・海外ウェディングフェア等におけるプロモーション				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	15回	9回	9回	9回	9回	8回	100.0%	48,981	順調	<p>活動概要</p> <p>キービジュアルを制作し、国内外に向けてデジタル配信を行うとともに、ブランドサイトへの誘導を図った。また、国内主要都市（大阪、横浜、名古屋）にてウェディングフェアを開催するとともに、全国を対象としてオンラインフェアを実施した。海外については、台湾でオンラインウェディングフェアを開催した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>国内外に向けてブランドイメージの浸透を図るとともに、ウェディングフェアを開催し、沖縄リゾートウェディングの魅力を発信し、認知度向上と需要喚起を図った。 目標値であるプロモーション回数8回に対し、9回を達成。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ブランディングを強化し、沖縄リゾートウェディングに対して上質なイメージの醸成を図る。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、国内市場を中心としたプロモーションを実施するとともに、海外については、比較的感染拡大状況が落ち着いている台湾においてプロモーションを実施し、需要の取り込みを図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランドキービジュアルを4本（プロポーズ編、ウェディング編、ハネムーン編、バウ・リニューアル編）制作し、国内外に向けてデジタル広告配信等を行った。</li> <li>国内主要都市3箇所（大阪、横浜、名古屋）にてウェディングフェアを開催するとともに、全国を対象としたオンラインウェディングフェアを開催した。また、台湾において、オンラインウェディングフェアを開催するとともに、挙式専門雑誌やインフルエンサーを活用したプロモーションを実施した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 沖縄は、チャペルウエディング、ビーチウエディング、ガーデンウエディング、ホテルウエディング、フォトウエディング、琉装挙式など、様々なスタイルのウエディングが商品化されており、新郎新婦が希望する挙式を実現することができる。
- ・ 沖縄には、リーガルウエディング（海外において、その国の民法に基づいて行われる挙式スタイルのこと）の受入可能な市町村がある。

##### ○外部環境の変化

- ・ 国内市場において、引き続き、少子高齢化や経済的な理由から結婚式をしない層、結婚式に意義をみいだせない「ナシ婚」層が増加している。
- ・ 沖縄リゾートウエディングの統計調査（沖縄県観光振興課実施）の結果から、高単価な商品から手の届きやすい価格帯の商品への移行がみられる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減便や運休が発生しているほか、外出自粛等により、挙式等のキャンセル・延期が発生している。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ リゾートウエディング等の消費単価向上を図るため、競合地との差別化を図り、沖縄で記念日を過ごすことによる魅力や価値を伝えるブランディングを強化する必要がある。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外渡航には慎重になることが想定されるため、国内のハワイやグアム等の海外意向層向けにプロモーションを実施するとともに、主要都市でウエディングフェア等を開催し、需要の取り込みを図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 引き続き、ブランディングを強化し、カップルが訪れる特別な場所としてのイメージの定着を図るとともに、沖縄リゾートウエディングに対して上質なイメージの醸成を図る。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、国内市場を中心としたプロモーションを実施するとともに、海外については、比較的感染拡大状況が落ち着いている台湾においてプロモーションを実施し、需要の取り込みを図る。



様式1(主な取組)

活動指標名	観光ストーリー策定				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	—	—	—	—		0	順調	事業自体は平成30年度までとなっており、観光ストーリー策定は完了。それ以降は、同媒体を活用した情報発信を行っていく。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  活動指標の観光ストーリー策定は平成30年度に完了しており、令和元年度以降は情報発信を継続的に続けていることから順調に進捗している。
活動指標名	情報発信				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
・ 今後は、外国人観光客の誘致を目的に運営されているBe. Okinawaブランドサイトや、VISIT OKINAWAサイトと連携した情報発信を図る。						・ 今後は、外国人観光客の誘致を目的に運営されているBe. Okinawaブランドサイトや、VISIT OKINAWAサイトと連携した情報発信を図った。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・事業が平成30年度で終了となっている。

##### ○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症により旅行需要が低下している。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・平成30年度で事業終了となっていることから、今後は、当事業で得られたノウハウを、外国人観光客の周遊観光促進に活用していく必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・今後は、外国人観光客の誘致を目的に運営されているBe. Okinawaブランドサイトや、VISIT OKINAWAサイトと連携した情報発信を図る。



様式1(主な取組)

活動指標名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進の取組				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
		実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	32,777	順調
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。</p>						<p>・ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、キャンプ地における感染防止対策に関する周知や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施した。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の拡大が不透明な中、キャンプ受入自治体の経済効果を高める取組が必要である。

##### ○外部環境の変化

・2年ぶりの有観客実施に向けてNPBや受入市町村と連携して、感染防止安全計画策定やキャンプ地における感染防止対策を講じた。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村や球団と連携し感染症対策徹底を図るとともに、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組が必要。

### 4 取組の改善案 (Action)

・これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、感染防止対策や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。

・コロナ禍まで実施されていた中国や韓国のプロ野球球団に向けて受入を希望する市町村と連携して誘致活動等を実施する。





様式1(主な取組)

活動指標名	意見交換件数(参加市町村数)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	23件	24件	33件	16件	18件	20件	90.0%	843	順調	<p>活動概要</p> <p>事前に会議内容等に関するアンケートを実施し、その結果を踏まえた内容構成で離島観光振興会議を実施し、18市町村が参加した。また、座間味村において、村担当者や地域の事業者を集め観光まちづくり意見交換を実施した。</p> <p>まちづくりアドバイザーについては、1市町村が活用した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>離島観光振興会議をオンライン参加も可能としたため、多くの市町村が参加することができ「順調」となった</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・観光まちづくりアドバイザー派遣については、早い段階で市町村や観光協会等に通知し、離島観光振興会議や市町村との意見交換会においても積極的な周知を行う。</p>						<p>・市町村や観光協会等に対し、観光まちづくりアドバイザー派遣の周知を7月に実施した。</p> <p>・離島観光振興会議においては、県の施策一覧の資料で観光まちづくりアドバイザー派遣を紹介した。</p> <p>・座間味村との意見交換においても、観光まちづくりアドバイザー派遣を紹介した。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・令和3年度の離島観光振興会議の取組は一定の評価を得た。
- ・観光まちづくりアドバイザーの派遣実績が少なかった。

##### ○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス等の感染症が流行した場合、各市町村（特に離島市町村）とのリアルでの意見交換等が難しい。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・観光まちづくりアドバイザー派遣については、多方面で周知する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・観光まちづくりアドバイザー派遣については、早い段階で市町村や観光協会等に通知し、県ホームページ等でも積極的な周知を行う。



様式1(主な取組)

活動指標名	法定外目的税の導入に関する関係団体等との意見交換				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	実施	実施	100.0%	0	順調	観光関連団体等との意見交換会1回、導入検討中の市町村との意見交換会1回、総務部税務課と導入に向けた課題等についての意見交換を5回実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光業界及び市町村との意見交換を図る。</li> <li>観光を取り巻く状況を踏まえ条例の議会提案や条例施行の時期を判断する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>観光関連団体等との意見交換会を1回、宿泊税の導入を検討している市町村との意見交換会を1回実施している。</li> <li>旅行需要が安定的に回復する傾向が見られる状況となり、宿泊事業者等の観光関連団体の理解が得られるよう意見交換を密に行い、導入に向けた取り組みを行うこととしている。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

##### ○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症が観光関連産業をはじめとした県内産業に深刻な影響を及ぼしている。
- ・観光関連団体より、コロナ禍で観光産業が多大な影響を受けている現状において新税を導入しないよう陳情が出されている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新税導入の時期について、新型コロナウイルス感染症の影響にかかる旅行需要が安定的に回復する傾向を慎重に見極める必要がある。
- ・新税導入にかかる制度設計等について観光関連団体等との意見交換を密に行い、関係者の理解を得る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・新型コロナウイルスの感染状況等の沖縄観光を取り巻く状況を注視しながら、宿泊税導入について観光関連団体の理解が得られるよう丁寧に説明を行い機運醸成に取り組む。



様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツツーリズムモデル事業数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	6件	4件	5件	15件	5件	3件	100.0%	37,676	順調	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け5件の補助対象事業者に対し、補助を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるするなど、スポーツイベントの定着化が図られるよう、支援枠を設定しており、モデル事業数が計画値を上回る5事業者となったため順調とした。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。</li> <li>スポーツイベント情報を多く扱うwebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる面談及びメール等での支援を定期的におこなった。</li> <li>スポーツイベント情報が集まるWEBサイトやプレスリリース会社を活用し、イベント情報の発信を行った。</li> </ul>				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・平成24年度から令和2年度に支援したイベントのうち、翌年度自走化したイベントは37%である。
- ・創出したスポーツイベントの定着・自走化を図るためには、安定的な収入や執行体制が必要である。

##### ○外部環境の変化

- ・国際情勢や感染症等に起因する旅行控えやスポーツイベントの中止等により、入域観光客数に影響がでている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き、イベントに精通したアドバイザーによる事業者支援を行う必要がある。
- ・国際情勢や感染症等に起因する入域観光客数やイベント等の参加者数の減に関し、対応する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。
- ・スポーツイベント情報を多く扱うWEBサイト等を活用し、イベント情報の発信を支援する。
- ・事業者のイベントによる稼ぐ力を向上させるため、モデル事業の支援に加え付帯事業についても支援を行う。



様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツ観光のプロモーション				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	プロモーションの実施	100.0%	104,780	順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着及び観光誘客を促進するため、web、メディア、スポーツチームを活用した誘客プロモーションを行うとともに、サイクリングイベントにおけるブース出展等を実施した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>コロナ禍においてもマラソン・サイクリング・ゴルフの重点種目に特化した沖縄のスポーツ環境のPRや琉球コラソン、琉球ゴールデンキングスを活用したホーム戦への誘客PR等、45件のプロモーションを実施し、スポーツ観光の促進を図った。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<p>・スポーツイベントだけではなく、沖縄において少人数でも楽しめるランニング、サイクリング、スポーツアクティビティの魅力を発信するとともに、関連施設、受入体制の安全面も併せてPRする必要がある。</p>						<p>・サイクリング、アクティビティのPRのみならず、「みるスポーツ」にスポットを当てた誘客促進に取り組んだ。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・世界に開かれたスポーツアイランド沖縄の形成に向け、沖縄へのスポーツ旅の誘客を増加・定着させるためには、地の利だけではない、沖縄の優位性・独自性を活かしたPRが必要である。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染拡大による、マラソン大会、サイクリングイベント等のスポーツイベントの延期によりスポーツを目的とした入域観光客にも影響が生じている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・安全・安心な島のPRとともに、沖縄においてコロナ禍でも楽しめるスポーツの魅力を発信する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・スポーツイベントだけでなく、沖縄において少人数でも楽しめるランニング、サイクリング、スポーツアクティビティの魅力を発信するとともに、関連施設、受入体制の安全面も併せてPRする必要がある。



様式1(主な取組)

活動指標名	ワンストップ窓口への相談件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	238件	179件	184件	108件	104件	104件	96.2%	30,000	順調	各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										問い合わせ件数は昨年度並みまで回復し、WEBサイトにおける県内スポーツ施設の情報掲載、SNS等を活用した情報発信により、本県のスポーツ環境のPRを図ることができた。
活動指標名					R3年度					令和3年度における国内外代表チームによる県内合宿件数はオリンピック・パラリンピックの事前合宿含め15件となった。また、コロナ感染拡大の影響により14件の合宿が中止となった。
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピック・パラリンピックの競技会場周辺において、沖縄のスポーツ環境等のPRツールを活用したPR活動を行う。</li> <li>公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣により、県内スポーツ環境を改善するとともに、キーパーソン招聘など県内市町村を巻き込んだ取り組みにより沖縄県のスポーツ環境について周知を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツイベントへ6件出展し、沖縄のスポーツ環境等のPRツールを活用したPR活動を実施した。</li> <li>ラグビートップリーグ所属のチームに対して誘致活動を実施し、2チームに対して施設コーディネートを実施した。</li> <li>公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣を4件実施し、県内スポーツ環境の改善を図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・スポーツキャンプの受入にあたり、施設や競技団体等の関係者へコロナ対策の徹底等、合宿環境整備を行う必要がある。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の影響により県を跨いだ移動の自粛や、入国制限及び入国後の隔離期間の設定等が設けられ、海外からの合宿誘致が難しくなっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・例年、海外での強化合宿を行ってきた国内代表チームや国内トップチームの国内での合宿需要が高まっており、沖縄県のスポーツ環境をPRすることが必要である。

・ラグビートップリーグの開催時期変更に伴い、開幕直前の合宿が夏場から秋口へ移動したことにより、避暑地ではなく温暖な合宿地が求められ始めている、他県(九州)に定着する前により温暖な沖縄県のスポーツ環境をPRすることが必要である。

### 4 取組の改善案 (Action)

・公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣により、県内スポーツ環境を改善するとともに、スポーツイベントへの出展やキーパーソン招聘など県内市町村を巻き込んだ取り組みにより沖縄県のスポーツ環境について周知を図る。





様式1(主な取組)

活動指標名	歓迎支援件数（沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対する地域特産品の贈呈等）				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	41件	44件	36件	32件	39件	45件	86.6%	3,016	概ね順調	沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民を挙げてのスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										歓迎支援件数は、プロサッカーで27件、プロ野球で12件の計39件となり、計画値の45件に及ばない結果となった。 要因としては、昨年度よりも7件増とはなっているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中国・韓国球団の野球キャンプ中止や歓迎セレモニー自粛といった外的要因が挙げられる。 次年度も、引き続きプロチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンションの気運醸成を図る。
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地で実施されたキャンプチームの新型コロナウイルス感染症対策を集約し、受入市町村、関係団体等が参加する連絡協議会において情報共有を図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・各市町村が主体となって実施している歓迎セレモニーについて、同じカテゴリーのスポーツチームに対しても、自治体間によって歓迎ムードの創出に違いが生じている。

##### ○外部環境の変化

・歓迎セレモニーについて、各市町村にて新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮しながら実施を要する状況である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村のスポーツコンベンションに対する歓迎支援の成果や新型コロナウイルス感染症拡大防止等課題を共有化し、支援内容等について検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	○スポーツ・キャンプ、コンベンションの誘致
主な取組	Jリーグ規格スタジアム整備事業			
対応する主な課題	⑤国際的な沖縄観光ブランドの確立に向けて、国内観光客のみならず、アジア地域や欧米等の外国人観光客を誘致する必要があり、沖縄本島に加えて、自然、文化等多様な魅力を有しながら認知度等に課題がある離島地域の積極的な活用が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
Jリーグ規格のサッカースタジアムを整備し、沖縄県のスポーツ及び観光振興に寄与する。						
		基本計画	課題整理	実施計画	設計	工事
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	スポーツコンベンション振興対策費 (Jリーグ規格スタジアム整備事業)						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 基本計画等で算定した概算事業費、需要予測、運営収支等の検証等を行った。 OR4年度： Jリーグの施設基準を満たす中での整備費やランニングコストの改善に向けた検討、経済波及効果の算出等を行う。
							県単等	委託	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	整備に向けた調査の実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	基本計画 策定 課題整理	複合機能 の導入可 能性検討	財源・事 業方式等 の検討	整備条件 の検討	調査実施	調査実施	100.0%	4,161	順調	基本計画等で算定した概算事業費、需要予測、運営収支等の検証等を行った。
活動指標名	工事の実施				R3年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—	—	—			概算事業費については、最新の基礎資料により再算定を行った。需要予測については、クラブの意見を踏まえ設定を行ったうえで、他のスタジアムの運営収支を参考に再算定を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画等で算定した概算事業費、需要予測、運営収支等の検証等を行う。</li> <li>整備計画地における「都市計画法」や「都市公園法」の法規制への対応について、引き続き関係者と調整を行い、今後の取組内容の整理を行う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>概算事業費については、最新の基礎資料により再算定を行った。需要予測については、クラブの意見を踏まえ設定を行ったうえで、他のスタジアムの運営収支を参考に再算定を行った。</li> <li>法規制への対応については、関係者と調整を行っており、引き続き、今後の取組内容の整理を行う。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・財源確保に向けて、Jリーグの施設基準を満たす中での整備費の改善策の検討やランニングコストの改善に向けて試合開催日以外の多目的利用など収益確保策の検討が求められている。

・整備計画地である奥武山公園は、「都市計画法」や「都市公園法」の制限があり、要件緩和に向けて、引き続き関係者と調整を行い、今後の取組内容の整理を行う。

##### ○外部環境の変化

・FC琉球は2018シーズンJ3で優勝し、2019シーズンはJ2昇格に加え、J1への参加資格となるライセンスを取得し、県民のサッカーに対する期待が高まっている。

・平成30年12月18日付けで県サッカー協会を中心としたサッカー関係団体、令和2年10月27日付け県サッカー協会よりJリーグ規格スタジアム整備の早期推進の要請があった。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・財源については、民間資金の活用も検討したが、スタジアムは収益施設ではないことから、民間資金の活用は非常に厳しい状況であり、公的資金が必要となっている。整備費・運営費の改善を図るとともに、スタジアム整備・運営により周辺に発生する経済効果や税収効果等を算出し、スタジアム整備の事業効果を明らかにしていく。

・施設整備事業であるため、建築に関する知識を有する職員配置を行うことにより、事業の進捗管理、都市計画法など法規制に関する関係者との協議が効率的な実施が可能である。他のスタジアム整備を行った自治体では、財源確保前の計画段階から技術職の配置など組織体制を確立している。

### 4 取組の改善案 (Action)

・財源確保に向けて、Jリーグの施設基準を満たす中での整備費の改善策の検討やランニングコストの改善に向けて試合開催日以外の多目的利用など収益確保策の検討を行う。また経済効果や税収効果等を算出し、スタジアム整備の事業効果を明らかにしていく。

・技術職員の配置など大規模プロジェクトを推進するための組織体制の確保に向けて取り組み、事業の進捗管理や法規制の対応協議を効率的に推進する。



様式1(主な取組)

活動指標名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進の取組				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	32,777	順調	ファン感謝イベントを活用した情報発信、那覇空港でのプロ野球沖縄キャンプPRブース設置、ガイドブックの配布等により、プロ野球キャンプ集積地ならではの取組を実施する。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										ファン感謝イベントを活用した情報発信、那覇空港でのプロ野球沖縄キャンプPRブース設置、ガイドブックの配布等により、プロ野球キャンプ集積地ならではの取組を実施した。また市町村に対してキャンプ地における感染症対策用の衛生用品等設置の支援を実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、キャンプ地における感染防止対策に関する周知や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の拡大が不透明な中、キャンプ受入自治体の経済効果を高める取組が必要である。

##### ○外部環境の変化

・2年ぶりの有観客実施に向けてNPBや受入市町村と連携して、感染防止安全計画策定やキャンプ地における感染防止対策を講じた。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村や球団と連携し感染症対策徹底を図るとともに、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組が必要。

### 4 取組の改善案 (Action)

・これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、感染防止対策や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。

・コロナ禍まで実施されていた中国や韓国のプロ野球球団に向けて受入を希望する市町村と連携して誘致活動等を実施する。



様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	〇スポーツ・キャンプ、コンベンションの誘致
主な取組	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業			
対応する主な課題	⑤国際的な沖縄観光ブランドの確立に向けて、国内観光客のみならず、アジア地域や欧米等の外国人観光客を誘致する必要があり、沖縄本島に加えて、自然、文化等多様な魅力を有しながら認知度等に課題がある離島地域の積極的な活用が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
サッカーキャンプの誘致を推進し、市町村及びキャンプ実施チーム等との連携強化、キャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上・地域活性化を図ることで、サッカーキャンプ地としてのブランド化を図る。		23件 キャンプ 誘致件数	24件	25件	26件	27件
		→				
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【098-866-2708】		プロ等サッカーキャンプ誘致の取組	
受入市町村の創出、県内スポーツターフ管理者の技術向上等						

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		サッカーキャンプ誘致戦略推進事業					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行った。	
一括交付金(ソフト)	委託	41,665	35,294	39,897	27,633	27,633	52,321	一括交付金(ソフト)	OR4年度： サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行う。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	サッカーキャンプ誘致件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	24件	28件	29件	26件	21件	27件	77.8%	27,633	概ね順調	県外クラブ訪問等の誘致活動を行ったことやキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等により、キャンプ実施クラブの拡大を図った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										新型コロナウイルス感染症の影響により、一昨年まで実施していたサッカーキャンプのPR活動をとりやめるとともに、海外クラブの誘致も実施しなかったことで件数は減少した。
活動指標名					R3年度					しかし県外クラブへの誘致活動やキャンプ関係者等と連携し、芝・宿泊・医療環境等を整えたことで、コロナ禍においてもJリーグや女子、大学生のキャンプを実施することができた。
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等と連携し、これまで以上にSNS等の各種情報発信媒体等において、受入市町村の観光資源に係る情報等やクラブのキャンプ情報を効果的に発信することにより、サッカーファンの関心を集め、コロナ後の地域振興に寄与する取組を実施する。</li> <li>受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、誘客促進を目的とした取組を実施することができなかった。</li> <li>西原町東崎公園サッカー場の芝生環境の向上を図り、クラブ受入を実施することができた。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 離島においては、実践相手 (トレーニングマッチ) の確保が課題となっている。

##### ○外部環境の変化

・ Jクラブや海外クラブから沖縄キャンプの実施希望が多くあるが、受入可能なグラウンドが不足している状況である。

・ コロナ禍のため海外クラブの誘致や誘客促進を目的とした取組が難しくなっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等関係者と連携し、コロナ禍でもサッカーキャンプが実施できる環境を構築する必要がある。

・ キャンプ実施クラブ数を増やすため、受入施設の拡大を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等と連携し、受け入れ施設やホテル等でのコロナ対策を講じるとともに、陽性者が出た際の対応を関係者全員で共有し、受入体制の強化を図る。

・ 受入市町村とクラブが連携し、観光資源やキャンプ情報を効果的に発信することにより、サッカーファンの関心を集め、コロナ後の誘客を図る。

・ 受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。